

平成 25 年 4 月

通信教育講座受講生
資格試験受験資格者 各位

通信教育講座テキスト全面改定について

この度、通信教育講座のテキストを全面改定させていただきました。
つきましては、下記「テキストの内容の留意点」をご確認お願い致します

記

・テキストの内容の留意点

テキストは狭義と広義のテクニカル分析の知識に加え、最低限知っておきたい基礎的なファンダメンタルズの解説も併せて掲載しております。また、「日本テクニカル分析大全」など、サブテキストも参考にして頂ければ、より深いテクニカル分析の知識が習得できるでしょう。なお、テキストは平成 25 年度入りを機に全面改定しました。第1次と第2次試験用テキストを体系的に学ぶことができるように、両テキストを通して目次を統一し、基礎的項目と専門的項目を振り分けております。そのため、目次の項目番号が必ずしも順列となっております。従って、第2次試験用テキストにおいては第1次試験用テキストと併せてご覧くださいますようお願い致します。

テキスト巻頭ページより

* 別紙にて目次一覧を添付させていただいております。
ご参考にさせていただきますようお願い致します。

以上

第 1 次試験用テキスト目次

項目	内容	掲載場所	
I	テクニカル分析とファンダメンタル分析の関係	第 1 次 (I)	
I -1	株価予測のアプローチについて	第 1 次 (I)	
I -2	テクノ・ファンダメンタルについて	第 1 次 (I)	
II	日本経済と株価	第 1 次 (I)	
II -1	GDPと株価の関係	第 1 次 (I)	
II -2	景気指数と株価の関係	第 1 次 (I)	
II -3	財政政策と株価	第 1 次 (I)	
II -4	金融政策と株価	第 1 次 (I)	
II -5	日本の景気循環と株価	第 1 次 (I)	
II -6	為替と株価	第 1 次 (I)	
III	企業業績と株価	第 1 次 (I)	
III -1	企業業績と株価	第 1 次 (I)	
III -2	株価のバリエーション その 1	第 1 次 (I)	
IV	市場全体の分析	第 1 次 (I)	
IV -1	騰落レシオ	第 1 次 (I)	
IV -2	新値株の分析	第 1 次 (I)	
IV -3	市場人気 (売買高)	第 1 次 (I)	
V	テクニカル分析	第 1 次 (I)	
V -1	トレンド分析	第 1 次 (I)	
V -2	移動平均線	第 1 次 (I)	
V -3	モメンタム分析		第 2 次 (I)
V -4	フォーメーション分析	第 1 次 (II)	
V -5	売買高分析	第 1 次 (II)	
V -6	オシレーター分析	第 1 次 (II)	
V -7	サイクル分析	第 1 次 (II)	
V -8	ローソク足	第 1 次 (II)	
V -9	ダウ理論	第 1 次 (II)	
V -10	一目均衡表	第 1 次 (II)	
VI	需給分析	第 1 次 (II)	
VI -1	投資部門別状況	第 1 次 (II)	
VI -2	仮需	第 1 次 (II)	

第 2 次試験用テキスト目次

項目	内容	掲載場所	
I	グローバル経済と株価		第 2 次 (I)
I -1	経済のグローバル化		第 2 次 (I)
I -2	国際貿易と FTA		第 2 次 (I)
I -3	グローバルマネーの動向		第 2 次 (I)
I -4	グローバルマネーと日本株市場		第 2 次 (I)
I -5	新興国のプレゼンス増大		第 2 次 (I)
I -6	国際商品市場の拡大		第 2 次 (I)
II	日本経済と株価	第 1 次 (I)	
III	企業業績と株価		第 2 次 (I)
III-1	企業業績と株価	第 1 次 (I)	
III-2	株価のバリュエーション その 1	第 1 次 (I)	
III-2	株価のバリュエーション その 2		第 2 次 (I)
IV	市場全体の分析	第 1 次 (I)	第 2 次 (I)
IV-1	騰落レシオ	第 1 次 (I)	
IV-2	新値株の分析	第 1 次 (I)	第 2 次 (I)
IV-3	市場人気 (売買高)	第 1 次 (I)	
IV-4	先導株比率		第 2 次 (I)
IV-5	上方乖離銘柄比率		第 2 次 (I)
V	テクニカル分析	第 1 次 (I)	第 2 次 (I)
V-1	トレンド分析	第 1 次 (I)	第 2 次 (I)
V-2	移動平均線	第 1 次 (I)	
V-3	モメンタム分析		第 2 次 (I)
V-4	フォーメーション分析	第 1 次 (II)	
V-5	売買高分析	第 1 次 (II)	第 2 次 (I)
V-6	オシレーター分析	第 1 次 (II)	第 2 次 (I)
V-7	サイクル分析	第 1 次 (II)	第 2 次 (I)
V-8	ローソク足	第 1 次 (II)	
V-9	ダウ理論	第 1 次 (II)	
V-10	一目均衡表	第 1 次 (II)	
V-11	P&F		第 2 次 (I)
V-12	エリオット波動		第 2 次 (I)
V-13	ギャン理論		第 2 次 (II)
V-14	その他の罫線		第 2 次 (II)
VI	需給分析	第 1 次 (II)	第 2 次 (II)

項目	内容	掲載場所	
VI-1	投資部門別状況	第1次(Ⅱ)	
VI-2	仮需	第1次(Ⅱ)	第2次(Ⅱ)
VII	デリバティブ関連		第2次(Ⅱ)
VII-1	デリバティブズ		第2次(Ⅱ)
VII-2	先物		第2次(Ⅱ)
VII-3	オプション		第2次(Ⅱ)
VII-4	オプション・プレミアム		第2次(Ⅱ)
VII-5	ボラティリティとBS式		第2次(Ⅱ)
VII-6	オプション取引の機能		第2次(Ⅱ)
VII-7	レバレッジ		第2次(Ⅱ)
VII-8	スワップ		第2次(Ⅱ)
VII-9	オプション投資戦略		第2次(Ⅱ)
VIII	証券投資分析の解説		第2次(Ⅱ)
VIII-1	数理分析		第2次(Ⅱ)
VIII-2	ランダムウォーク理論		第2次(Ⅱ)
VIII-3	ポートフォリオ理論とマネジメント		第2次(Ⅱ)
VIII-4	投資家心理		第2次(Ⅱ)
VIII-5	その他の数理分析		第2次(Ⅱ)